開催日時 ： 2014年6月1日(日) 10:00〜13:00
開催場所 ： 神田外語学院 5階
参加者　 ： 24名

浜之上幸先生(神田外語大学)、遠藤正承先生(神奈川県立横浜翠嵐高校)、呉文淑先生(私立啓明高校)、郭志和氏(個人)、木村春菜先生(都立小平高校、青梅高校 他)、金玉珠先生(カルチャーセンター)、金明華先生(私立八千代松陰中学高等学校、千葉韓国教育院 他)、金延修先生(民間)、金竜太郎先生(都立板橋区立西台中学校)、熊谷氏(筑波大学生)、清水中一氏(韓国文化院)、千代君(東京外語大学生)、瀧原さん(神田外語大学卒業生)、田附氏(YMCA 事務、関東女子学園高校)、武井一先生(都立日比谷高校、新宿高校 他)、竹内じゅん氏(アー・エデイケーション取締役)、崔英善先生(神奈川県[redacted]高校)、中野敦氏(国際文化フォーラム)、南貞順先生(東京韓国教育院院長)、水口氏(事務局長)、宮川咲氏(国際文化フォーラム)、茂木さん(法政大学ー実行委員)、山下誠先生(神奈川県立鶴見総合高校)、尹貞源先生(金沢総合高校). *(50音順)

タイムスケジュール
10:00〜10:30 参加者全員自己紹介&近況報告会
10:30〜11:00 浜之上先生 発表(神田外語大学韓国語学科)
「高校で韓国語既習の1年生の反応&近年の韓国語専攻への入学者の傾向」
11:00〜11:10 千代君の韓国語専攻学習課程においての経験発表
11:10〜11:45 ディスカッションタイム
11:45〜12:00　休憩
12:00〜12:30　崔英善先生 発表(神奈川県橋本高校、相模原総合高校)
「SNSを活用した韓国語授業実践報告ー橋本高校の実例」
12:30〜12:45　ディスカッションタイム
12:45〜12:53　木村春菜先生 授業報告
12:53〜13:00　ＪＫＳ伝達事項

1.参加者先生方の自己紹介及び近況報告(別紙資料を参照)
学校、学年、担当時間、対象人数、近況報告

2. 浜之上先生 発表 「高校での韓国語既習の1年生の反応」&「近年の韓国語専攻への入学者の傾向」

(資料参照)
・伝統農学部が廃部になり、k-popコピーダンスサークルが2年前に発足、人気有る。
・高校での既習者が増え、留学が増えて来た。
・高校教育では、 1.韓国語を積極的に話したり聞いたりすること、 2.韓国語の自然な発音が出来ることを大切にしてほしい。
・大学では、3.韓国語の用言の語形つくりが出来ること、 4.韓国語の文章を読んだり書いたりすることを重要視している。
・神田外語大学韓国語専攻1年生の中間試験(資料参照)において取り扱われる発音に関する事項について。
・濃音の指導法の難しさー身につくまで1ヶ月程かかる。

・文脈の中でのㅗ:ㅓ, ㅜ:ㅡの発音が出来るかが重要。
・ㅢの発音。意義の一의의의[의이에]
・[ｎ］挿入: 読めません一못 읽어요[몬 닐거요］.[모 딜거요］の、どちらを採用するか。
現在、韓国でも年代層によって分かれているそう。国立国語研究所によると[몬 닐거요］で統一するよう促しているそう。
・大学では、韓国語を初めて学ぶことを前提としているので、0ゼロからじっくりと時間をかけた授業である。だが、韓国語でのコミュニケーション活動に関しては、MULC(Multi-lingual communication center)という、英語以外の7つの地域言語でのコミュニケーションの場が設けられており、韓国語既習者は「生きた韓国語」に思い存分触れることができている。

3.千代君の韓国語専攻学習課程経験発表

高校時代:都立新宿高校にて武井先生の指導を受ける。
大学時代:神田外語大学にて浜之上先生の指導を受ける。
・高校時代に学んでおいたアドバンテージがあったので大学での授業で余裕ができた。
・高校時代とかぶる授業ではあったが、慢心してはいけなく、教わらなくても良い内容は何も無く、発音の授業にポイントを絞って学習した。
・MLUC一マルクの制度をフルに活用した。
・1年生の頃は3,4年生の先輩と先生方の会話を聞くのみに徹した。
・大学2年韓国外国語大学へ留学。留学への選抜〜話せるかは問わない。1年全期の成績、単位の取得、Aランクを取得してほしい。留学は1年間。

4.ディスカッション

山下先生　:自然な発音授業についての問いかけ
浜之上先生 : 資料1,2を高校ではメインで授業をして欲しい。
山下先生　:ネイティブ先生はㅜ,ㅡ/ㅓ,ㅗをどこまで重要視しているのか?
尹先生　　:発音の授業では、しっかり伝授し文脈の中では許容範囲内での指導。
崔先生　　:発音単元での授業では厳しく発音練習させる。
瀧原さん　:(鶴見総合教育実習経験者)鶴見総合高校の生徒さんもそうでしたが、今の高校生の発音はとても綺麗。
山下先生　:도시락/먹어요.を切らずに続けて読ませたら、[도시랑 머거요］と、なっている。理屈は分から無いけど自然に出来ている。韓国朝鮮語は書いてあるとおりに読めない難しさがある。
浜之上先生 :絶対的に授業数の足りない高校授業では(資料参照)6)以降は難しい。
山下先生　:高校教育での立ち位置を
木村先生　:実際の自然の発音と基本教科書通りの発音、どちらを優先して教えるべきか。
清水さん　:80年代以降韓国語表記変化が起き읍니다→습니다, ㅐ:ㅔは違う、다르다:틀리다の使い方等、刻々と言葉が変化して行ってる。高校生は同じ年齢層と話すので今の時代のものと一緒のㅔ:ㅐとみなす。
山下先生　:文法ですから助詞を完璧に使えこなせるようにすると、浜之上先生資料の1.2になりますね。

5. 崔英善先生発表「SNSを活用した韓国語授業実践報告」橋本高校の実例

・教材:新チャレンジ韓国語に沿って授業
・韓国語授業のねらい(指導の考え方): 多言語、多文化社会における自立したグローバル人材及び共生、共存できる人への成長の一つのツールとしての韓国語
・LINEの活用の試み
・実際の映像
・打ち返しの速度や内容の差
・効果(生徒からのコメント)
・課題(生徒からのコメントより)
・今後
(*詳細は資料を参照)

【質疑応答】
木村先生:타자の仕方は教えたのか?21名全員が使えたのか？
中野氏:とても興味深い発表でした。自立学習の動機付けが出来る。日本←→韓国の生徒達が他国語の学びに繋がる。
崔先生:教育は時代の流れに沿って行う。生徒達は、出来る子が出来無い生徒に教えながら、教師もサポートしながら授業を進める。
千代君:打ちこみ易さは機種によって異なる。グループチャットの部屋を一つでは無く、例えば三つに分けると出来無い生徒が焦ること無く解決出来る。

6.木村春菜先生 授業報告
資料参照

7.今年度予定
・全国研修会ー大阪で開催、11月29,30日計画(高ー大接続、ITCを、どのように授業に取り入れるか、テクニカル)
・次回定例会ー8月末、９月頭、場合によっては7月末
・韓国文化院ー10月6日作文、写真コンテスト案内
・話してみよう韓国語大会ー12月19日〆切、2月1日実施
・国際フォーラムー댄스댄스댄스9月26日〆切、12月25日～12月30日実施
・東京韓国教育院ー韓国語教育支援事業の案内

今回JAKEHS 東ブロックは、私たちのために休日出勤をしてくださった浜之上先生のおかげで異例の多人数参加となりました。
研修会終了後、近くの中華料理店にて参加された皆さんで美味しい昼食をとりながら、楽しい親睦の場を作ることができました。